

DXビジネス検定™

DX検定™シリーズ

日本イノベーション融合学会

『DXビジネス検定™』（DX検定™シリーズ） 累計結果について

2023.5

一般社団法人 日本イノベーション融合学会 / DX検定™委員会
検定事務局：株式会社ネクストエデュケーションシンク

「DXビジネス検定™」 (DX検定シリーズ) 概要

検定名	「DXビジネス検定™」
受検の概要	DX時代の企業人財のビジネス力を測る検定。また、基礎的なテクニカル分野の問題からDXビジネス理論、DXビジネスモデル、DXビジネス事例などから幅広く出題されます。
試験概要	60分間で96問の知識問題（多肢選択式）出題。 Web受検 PC、タブレットでの受検が可能
出題問題	先端技術を活用したビジネスモデルや事例を中心としたDXにかかわる全般の必須知識項目から出題。詳細は「DXビジネス検定™」の「カテゴリー構成」をご参照下さい。
開催日	年2回検定実施（4月、10月にWeb開催）
検定結果 発表予定	検定実施日の1カ月後、検定サイトにて発表

DXビジネス検定のカテゴリ構成

カテゴリ	分類		説明	主なキーワード
DX 基礎領域	01	DXの基本	DXの基礎用語や事例	DX、攻めのDX、デジタルイゼーション、デジタイゼーション、非連続イノベーション、共通プラットフォームなど
	02	デジタル技術	デジタル技術用語や事例	IOT、5G、API、アジャイル開発、MaaS、マイクロサービスなど
	03	データと分析	データ、分析用語や事例	データサイエンス、BI、ELTツール、非構造化データ、NoSQL、シミュレーションなど
	04	マーケティング	マーケティング用語や事例	O2O、OMO、リードジェネレーション、ナッジ理論、リードナーチャリング、カスタマージャーニー、インフルエンサーなど
DX ビジネスモデル	05	消費者の状況とビジネス環境	ビジネスモデルの前提になる消費者の状況とビジネス環境の用語や事例	ネットワーク外部性、トキ商材、モジュール化、レイヤー化、サードプレイス、UI、UX、デザイン思考など
	06	戦略モデル	ビジネスモデルのうち、戦略モデルの用語や事例	媒介型プラットフォーム、シェアリングエコノミー、クラウドファンディング、消耗品モデル、アズアサービス、イネブラーなど
	07	オペレーションモデル	ビジネスモデルのうち、オペレーションモデルの用語や事例	SPA、メイクトゥオーダー、直販(ダイレクトセル)、オープンイノベーション、プロシューマー、顧客ライフサイクル、アップセルなど
	08	収益モデル	ビジネスモデルのうち、収益モデルの用語や事例	レベニューシェア、投げ銭モデル、サブスクリプション、アドオン、カスタマーロイヤリティ、フリーモデルなど
DX ビジネス事例	09	ビジネスモデル事例 (デジタル集客系)	デジタル集客、マッチング、マーケットプレイス(デジタル・リアル商材)ビジネスモデルに関する事例	C2C取引サービス、マッチングサービス、クラウドファンディング仲介企業、シェアリングサービス企業、SNSサービス企業など
	10	ビジネスモデル事例 (デジタル商材系)	デジタル商材(リアルとの融合含む)ビジネスに関する事例	スコアリングサービス企業、チャットアプリサービス企業、サブスクリプションサービス企業、決済サービス企業、ビーコンサービス企業など
	11	ビジネスモデル事例 (リアル+デジタル融合)	リアルビジネスとデジタルの融合に関する事例	サブスクリプションサービス企業、D2C企業、ネットスーパー、オフィスコンビニサービス、デジタル化商材など
	12	ビジネスモデル事例 (リアル)	リアルビジネスの事例	SPA企業、エコ活動企業、ブルーオーシャン戦略を実施する企業など

▲「DXビジネス検定™」シラバス

「DXビジネス検定™」試験結果サンプル例

(※企業向け組織分析オプションも可能です)

以下は、個人向けに提供される試験結果イメージです！
 企業・法人向けには、オプションにて企業平均及び個人結果一覧を別途提供が可能です。

DXビジネス検定™
DX検定™シリーズ

日本イノベーション融合学会
結果詳細表示 [詳細](#)

DX検定シリーズ
DXビジネス検定 結果
 検定試験日: YYY年MM月DD日 認定証書ダウンロード
 氏名: ***** 印刷
 受験番号: *****

総合スコア 658 / 1000

No.	大項目名	得点率	No.	中項目名	得点率
1	DX基礎領域	65	1	DXの基本	60
			2	デジタル技術	50
			3	データと分析	80
			4	マーケティング	70
2	DXビジネスモデル	61	5	消費者の状況とビジネス環境	65
			6	戦略モデル	80
			7	オペレーションモデル	55
			8	収益モデル	45
3	DXビジネス事例	71	9	ビジネスモデル事例(デジタル集客系)	70
			10	ビジネスモデル事例(デジタル商材系)	80
			11	ビジネスモデル事例(リアル+デジタル融合)	65
			12	ビジネスモデル事例(リアル)	70

総合評価

検定結果画面 (Web画面)

CERTIFICATE

DXビジネス検定™
DX検定™シリーズ
2022

日本イノベーション融合学会
第 号

DX ビジネスプロフェッショナルレベル

融合 太郎 殿 PROFESSIONAL

検定試験日 (第2回検定) : XXXX年XX月XX日

総合スコア : 890 / 1000

あなたは、第2回「DXビジネス検定™」において、
上記のスコアを取得されたことを認定します。

2022年11月**日 ※レベル認定の有効期間は2年間です。

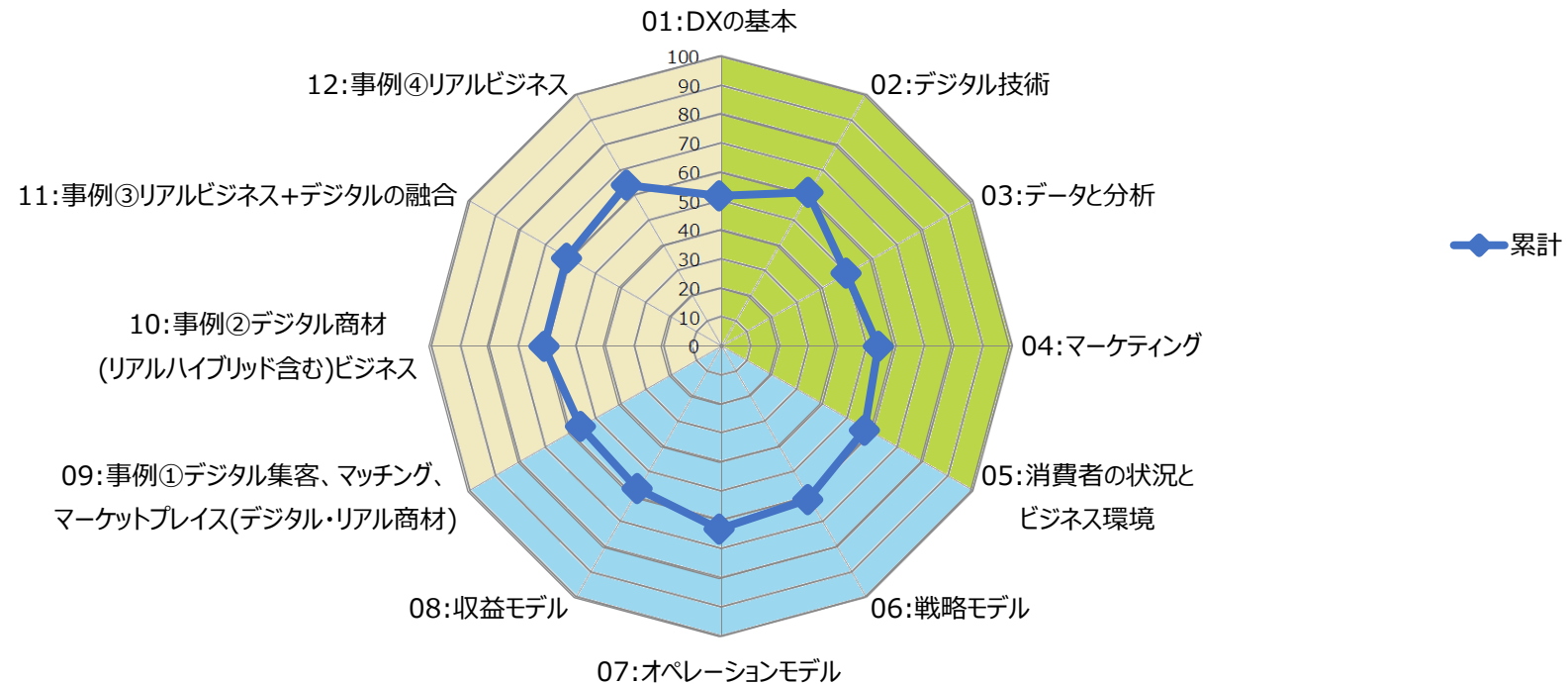
一般社団法人 日本イノベーション融合学会

理事長 西山 敏樹

検定認定証 (ダウンロード、印刷可)
 ※見本イメージ

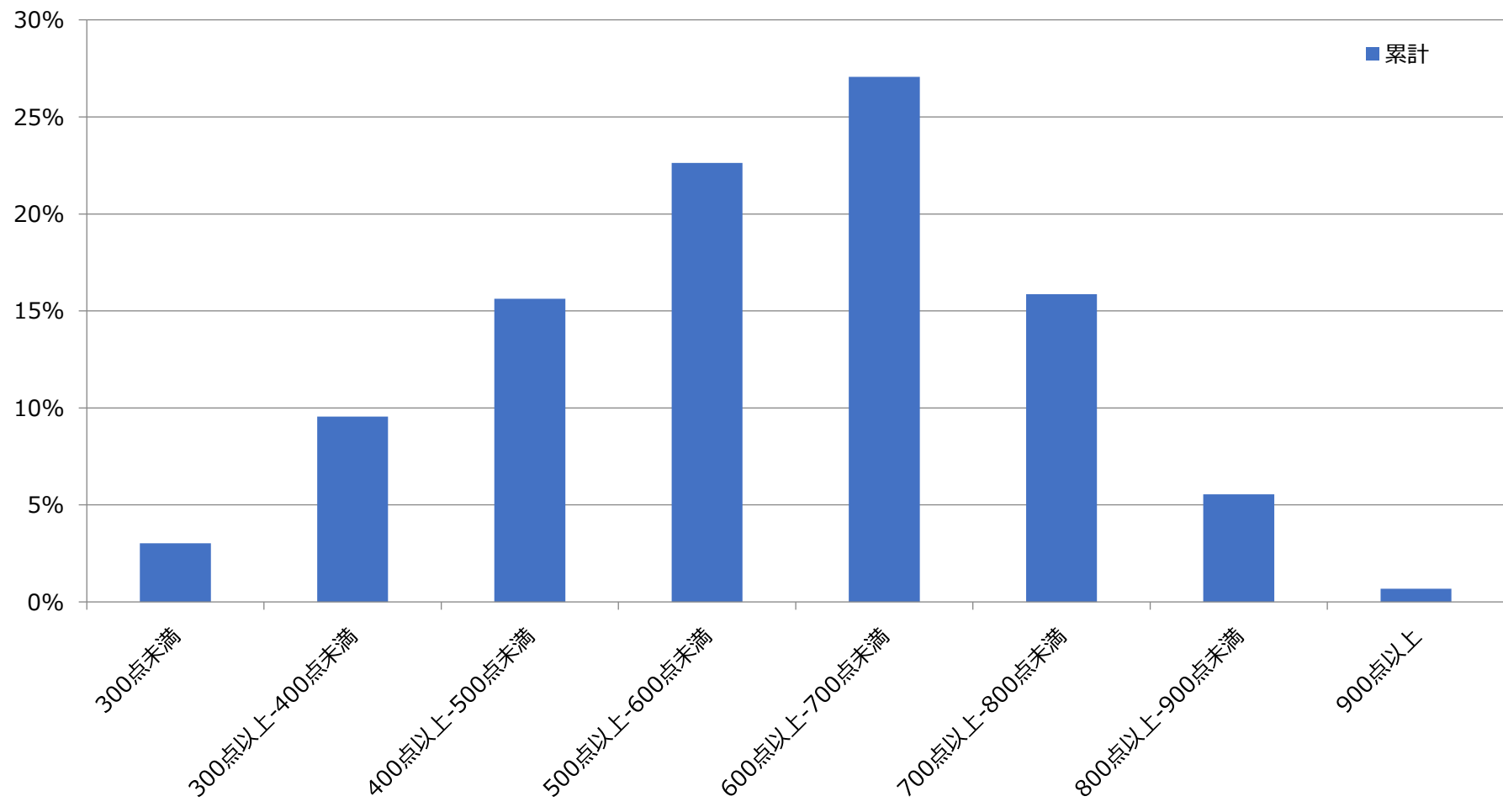
検定採点結果（全体平均）

【累計平均】DXビジネス検定スコア 581.0 点 / 1000 点
 (DX基礎領域 54.6% / DXビジネスモデル 59.6% / DXビジネス事例 60.1%)



項目	総合スコア	区分 (得点率)			DX基礎領域 (得点率)				DXビジネスモデル (得点率)				DXビジネス事例 (得点率)			
		DX基礎領域	DXビジネスモデル	DXビジネス事例	01:DXの基本	02:デジタル技術	03:データと分析	04:マーケティング	05:消費者の状況とビジネス環境	06:戦略モデル	07:オペレーションモデル	08:収益モデル	09:ビジネスモデル事例(デジタル集客系)	10:ビジネスモデル事例(デジタル商材系)	11:ビジネスモデル事例(リアル+デジタル)	12:ビジネスモデル事例(リアル)
累計	581.0	54.6	59.6	60.1	51.8	61.2	50.5	54.8	57.8	61.0	63.0	56.6	55.3	60.3	60.8	64.1

検定採点結果（得点別人数分布割合）



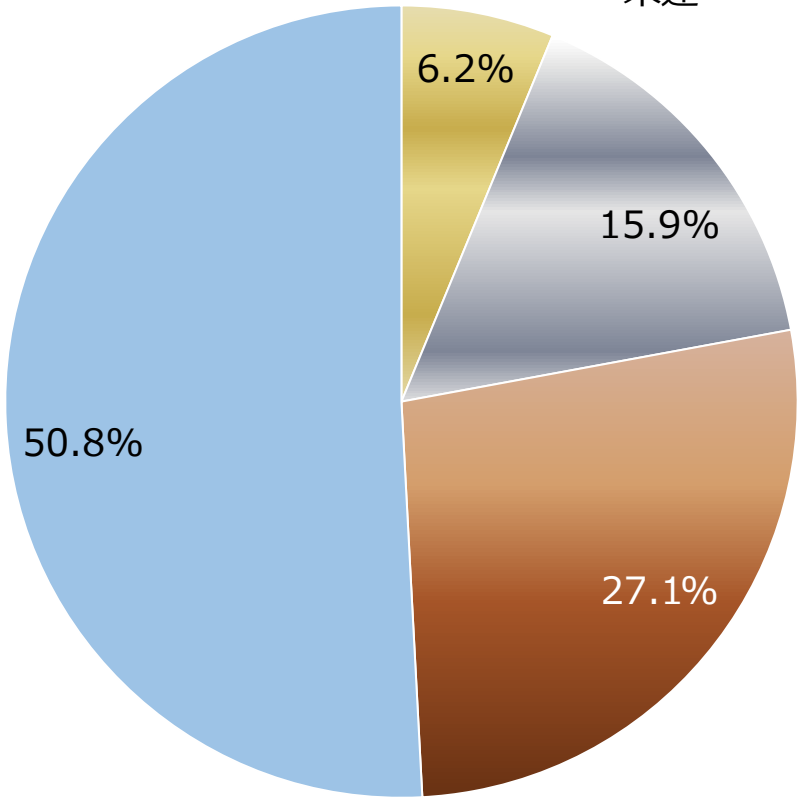
DX総合スコア（Max : 1000）

認定レベル分布

「DXビジネス検定™」 認定レベル

累計

- プロフェッショナルレベル
- エキスパートレベル
- スタンダード
- 未達



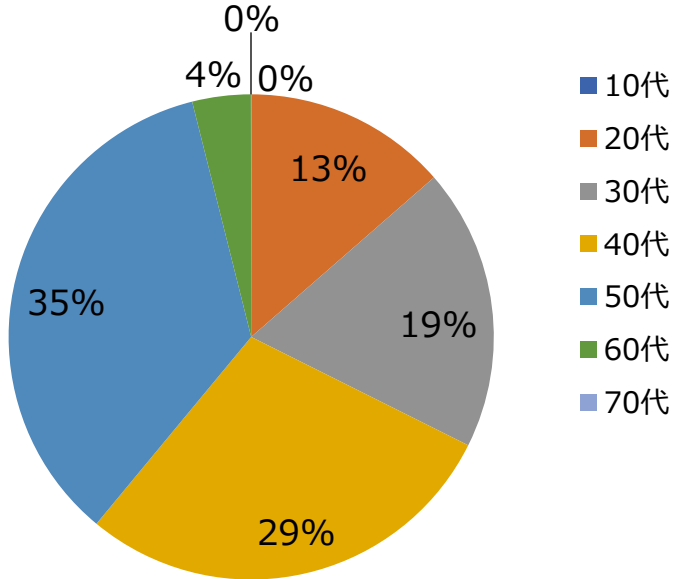
レベル区分	割合
DXビジネス プロフェッショナル レベル	6.2%
DXビジネス エキスパート レベル	15.9%
DXビジネス スタンダード レベル	27.1%
未達	50.8%

スコア	認定レベル
800以上	DXビジネス プロフェッショナル レベル
700以上	DXビジネス エキスパート レベル
600以上	DXビジネス スタンダード レベル

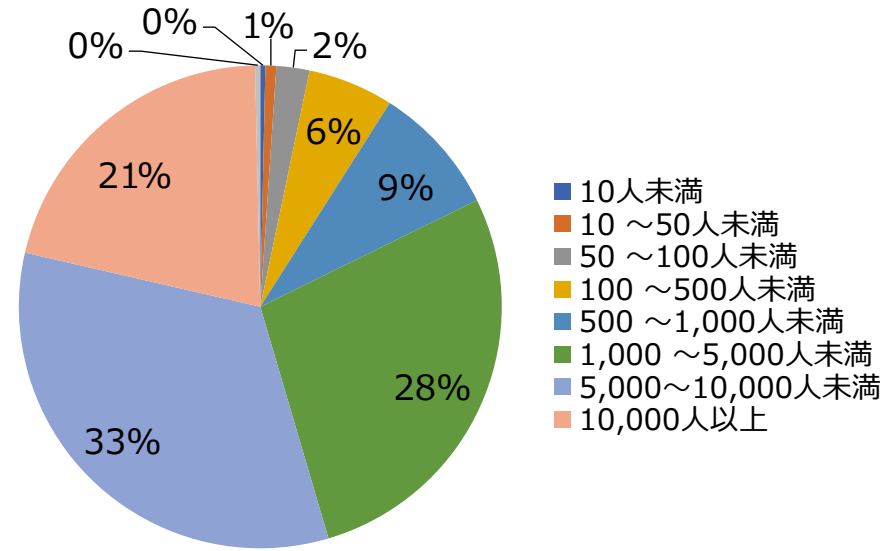
(※認定レベルは2年間有効)

【累計】DXビジネス検定

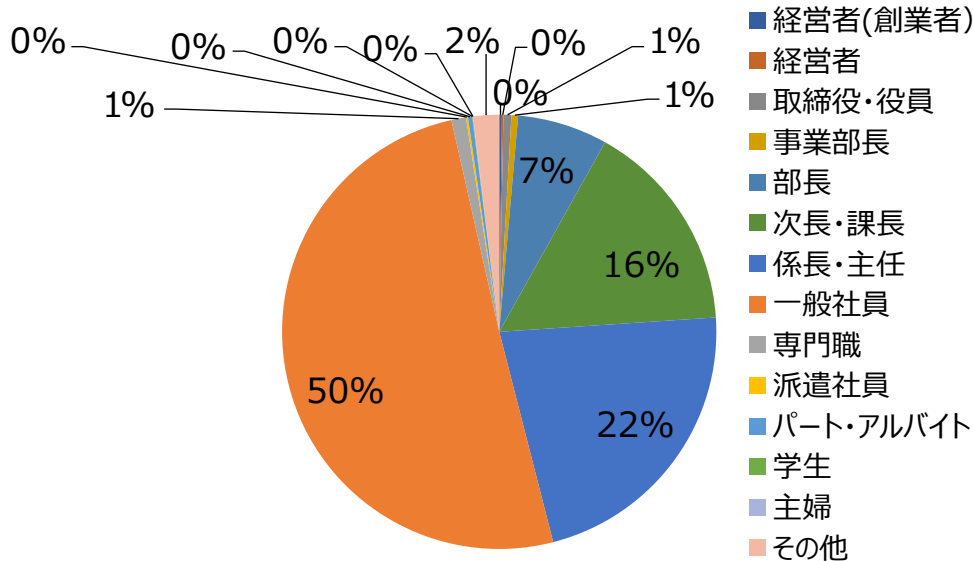
受検者層年代層別



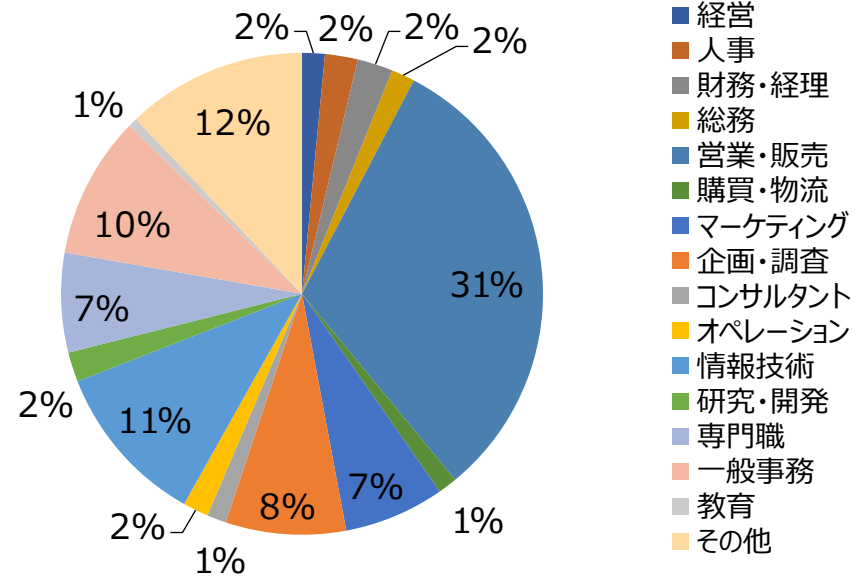
受検者層企業規模



受検者層役職別

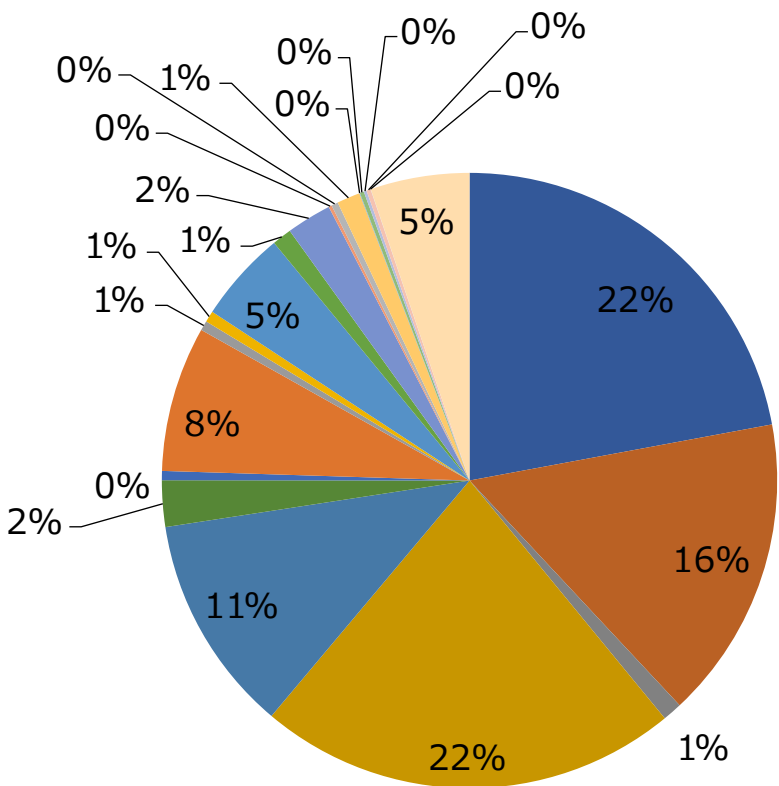


受検者層職種別



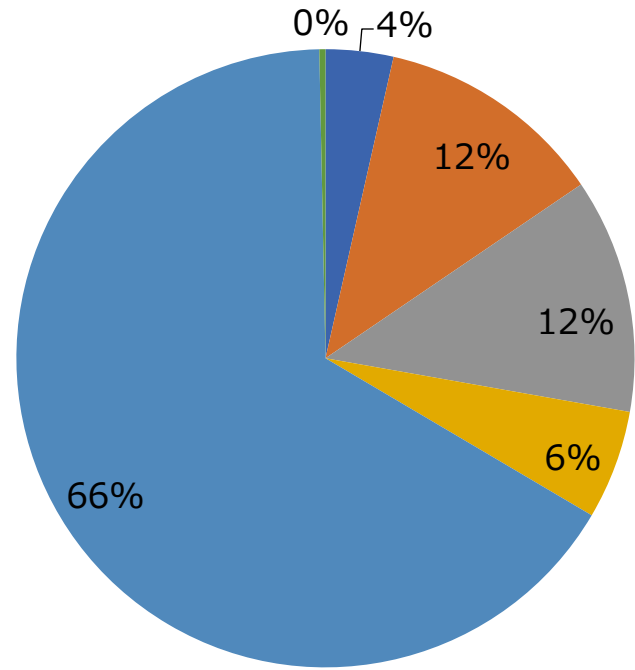
【累計】DXビジネス検定

受検者層業種別



- IT/通信
- メーカー (電気・機械)
- メーカー (素材/化学/食品)
- 商社
- 営業
- 事務
- 医療関連
- 金融
- 建設/不動産
- コンサルティング/リサーチ/専門
- 人材サービス/アウトソーシング/コールセンター
- インターネット/広告/メディア
- 小売
- 教育
- 運輸/物流
- 会社/官公庁/学校
- 旅行/宿泊/レジャー
- その他
- 農林水産/鉱業

受検者層DX人材種別



- IT経営人材
- IT人材
- イノベーションリーダー人材
- デジタル技術人材
- ビジネス人材
- 学生

「DX検定™」／「DXビジネス検定™」企業での目標スコアレベル（参考指標）（2021.ver2.0）

■「DX検定™」シリーズのスコアレベル認定の概要

日本イノベーション融合学会では、「DX検定™」シリーズの数千名以上となる企業のモニタリングにより、全国平均と比較して、DX推進を目指す企業の、DX人財育成・知識評価の標準指標としていただけるように、検定スコアに応じ、DXレベル、DXビジネスレベルの認定と、企業における活用指標を検討し発表しています。
 ⇒最新版の目標スコアレベルは「DX検定™」／「DXビジネス検定™」のホームページからダウンロードが可能です。

■活用方法

社内のDX人財育成の目標として、人事部・人材開発部等での人財育成における経年での効果測定、DX部門やDXプロジェクトの人材選抜に、社内の社員のDX学習ムードの醸成に、ベテラン社員のリスクリングのきっかけに、社内のDX人財認定の評価指標の1つとして等、ご活用いただいております。

■日本イノベーション融合学会「DX検定™小委員会」による「DX検定™」シリーズの目標スコアレベル（Ver2.0）（参考）

IPAの定義によるDX推進人材像（例）※1		「DX検定™」シリーズ 標準 目標スコアレベル	
人材の呼称例	人材の役割	DX検定™	DXビジネス検定™
プロデューサー	DXやデジタルビジネスの実現を主導するリーダー格の人材（CDO含む）	850以上 （CDOは900以上）	850以上 （CDOは900以上）
ビジネスデザイナー	DXやデジタルビジネスの企画・立案・推進等を担う人材	800以上	800以上
アーキテクト	DXやデジタルビジネスに関するシステムを設計できる人材	800以上	800以上
データサイエンティスト	DXやデジタル技術（AI・IoT等）やデータ解析に精通した人材	750以上	750以上
UXデザイナー	DXやデジタルビジネスに関するシステムのユーザー向けデザインを担当する人材	700以上	700以上
エンジニア／プログラマ	上記以外にデジタルシステムの実装やインフラ構築を担う人材	650以上	650以上

※1（赤枠内部分）
 出典：独立行政法人情報処理推進機構「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」（2019年5月17日）

「DX検定™」／「DXビジネス検定™」企業での 事業・部門別／職務・役職別目標スコアレベル（参考指標）（2021.Ver2.1）

■「事業会社/ベンダー・コンサル系企業」別の参考値（目安）（日本イノベーション融合学会「DX検定™小委員会」目標スコアレベル）

IPAの定義によるDX推進人材像	事業会社						ベンダー・コンサル系企業	
	システム部門		事業部門		デジタル戦略系部門		受託開発・コンサル	
人材の呼称例	DX検定	DXビジネス検定	DX検定™	DXビジネス検定™	DX検定™	DXビジネス検定™	DX検定™	DXビジネス検定™
プロデューサー	850	850	800	900	850	950	900	850
ビジネスデザイナー	800	800	750	900	850	850	850	800
アーキテクト	800	800	-	-	800	800	850	800
データサイエンティスト	750	750	750	750	800	800	800	750
UXデザイナー	700	700	700	700	800	700	750	700
エンジニア/プログラマ	650	650	-	-	700	700	700	650

20211208

■企業階層別 目標スコアレベル（目安）※各企業にて調整の上、ご活用下さい

階層（例）	事業会社	
	DX検定™	DXビジネス検定™
経営層（取締役、執行役員）	750	900
事業部長	850	950
部長	700	800
課長	650	750
係長	600	700
一般社員	550	650
新入社員	500	600

20211208

■「DX検定™」 「DXビジネス検定™」 認定レベル

スコア	認定レベル
800以上	DX、DXビジネス プロフェッショナル レベル
700以上	DX、DXビジネス エキスパート レベル
600以上	DX、DXビジネス スタンダード レベル

（※認定レベルは2年間有効）

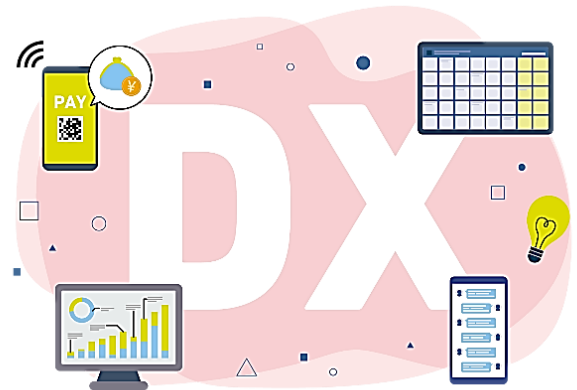
「DX Study™ Biz (eラーニング)」とは (検定準拠学習教材)

◆対象・用途◆企業全社員のDXビジネス力強化／新入社員研修／大学・専門学校のDXビジネス力育成に

DX Study™ Biz 2023

【DXビジネス検定™】完全準拠教材(日本イノベーション融合学会主催)

「DXビジネス人財」育成のための最新eラーニング



DXビジネスの全体を見通し、企業の<ビジネス変革>を目指す人財に

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、「データとデジタル技術」や サブスクリプション、シェアリング、クラウドファンディング、顧客ロイヤリティプログラムなどの「ビジネスの仕掛け」を活用したでデジタル経営改革のことです。

このためDXを本当に成功させたいなら、「DXの基礎用語」はもちろん、「データ分析に関する用語」、「デジタル技術に関する用語」、「マーケティングに関する用語」、「ビジネスモデルに関する用語」、「DXの成功事例」等を数多く理解する必要があります。

新入社員、若手社員、営業社員、管理職、経営層や、これからのDX時代を生きる大学や専門学校の方々、デジタルに苦手意識のある方も含めて、全ての社会人の方に、「DXビジネス力」の最新の視野拡張・強化が必要な時代が到来しています。

「DX Study Biz™」とは？

自社ビジネスと「DX」の関わり、国内外の先進のビジネスモデルやDXの成功事例を短期間で習得できるドリル型「eラーニング」教材。スマホ・PC同期可／修了証出力可。新入社員研修・営業人財研修にも最適

先進の「DXビジネス推進人財」「ビジネス価値創造人財」となることを目指すための「eラーニング」教材です。「DXビジネス検定™」の完全準拠教材です。一問一答での学習や、検定本番と同様のアセスメントモードでの学習がオンラインで可能です。

出題される具体的な内容は下記の知識項目やキーワードをご参照ください。簡易的に知識レベルを測定したい場合は、アセスメントとしての利用も可能です。



大項目	小項目	平均	標準偏差	順位	合格	不合格
1. DXの基礎	1.1 DXの基礎	100.0	0.0	***	100.0	0.0
	1.2 DXの基礎	100.0	0.0	***	100.0	0.0
2. DXの成功事例	2.1 DXの成功事例	100.0	0.0	***	100.0	0.0
	2.2 DXの成功事例	100.0	0.0	***	100.0	0.0
3. DXのビジネスモデル	3.1 DXのビジネスモデル	100.0	0.0	***	100.0	0.0
	3.2 DXのビジネスモデル	100.0	0.0	***	100.0	0.0

▲テスト結果画面サンプル

「DX Study™ Biz (eラーニング)」概要

年2回、先進のDXビジネス事例を追加して
最新版へとアップグレード！

「DX Study Biz™」の知識項目

【DX基礎領域】

- 1.DXの基本
- 2.デジタル技術
- 3.データと分析
- 4.マーケティング

＜主なキーワード例＞
攻めのDX、デジタルイノベーション、デジタルイノベーション、非連続イノベーション、共通プラットフォーム、IoT、5G、アジャイル開発、MaaS、マイクロサービス、データサイエンス、BI、ETLツール、非構造化データ、NoSQL、シミュレーション、O2O、OMO、リードジェネレーション、ナッジ理論、リードナーチャリングほか

【DXビジネスモデル】

- 5.消費者の状況とビジネス環境
- 6.戦略モデル
- 7.オペレーションモデル
- 8.収益モデル

＜主なキーワード例＞
ネットワーク外部性、モジュール化、レイヤー化、UI、UX、デザイン思考、媒介型プラットフォーム、シェアリングエコノミー、クラウドファンディング、消耗品モデル、アズ・ア・サービス、イネーブラー、メイクトゥオーダー、プロシューマー、アップセル、レベニューシェア、投げ銭モデル、サブスクリプション、アドオンほか

【DXビジネス事例】

- 9.ビジネスモデル事例 (デジタル集客系)
- 10.ビジネスモデル事例 (デジタル商材系)
- 11.ビジネスモデル事例 (リアル+デジタル融合)
- 12.ビジネスモデル事例 (リアル)

＜主なキーワード例＞
C2C取引サービス、マッチングサービス、クラウドファンディング仲介企業、シェアリングサービス企業、スコアリングサービス企業、チャットアプリサービス企業、決済サービス企業、サブスクリプションサービス企業、D2C企業、ネットスーパー、SPA企業ほか

教材名	「DX Study Biz™2023」 (スマホ、タブレット、PCなどで同期学習可能)
標準学習時間	全分野で20時間 ①アセスメントモード ②トレーニングモード
収録用語数	最新の厳選240用語・知識の効率的な学習 (※編集委員会にて年2回最新用語に更新)
利用可能期間	3カ月 (1人1ライセンス契約) ※スマホ、PC、タブレットなどで同期していつでもどこでもオンラインで学習可能。
その他	※「DXビジネス検定™」準拠の学習教材。 ※修了証出力あり (個別企業向けのカスタマイズ証明書作成可 (別途企業向けオプション))

- 動作環境 ■ 次のブラウザを推奨しています。
- PC ● Windows 10以上 : Google Chrome ※Google Chrome以外のブラウザをご利用の場合は、Firefox、Microsoft Edgeをご利用ください。 ※Macintoshでは動作保証はしていません。
- スマートフォン ● iOS / Android : 標準ブラウザ



▲実施画面サンプル

DX Study™ Biz eラーニングシステム（学習モード概要）

<モード1「アセスメントモード」>

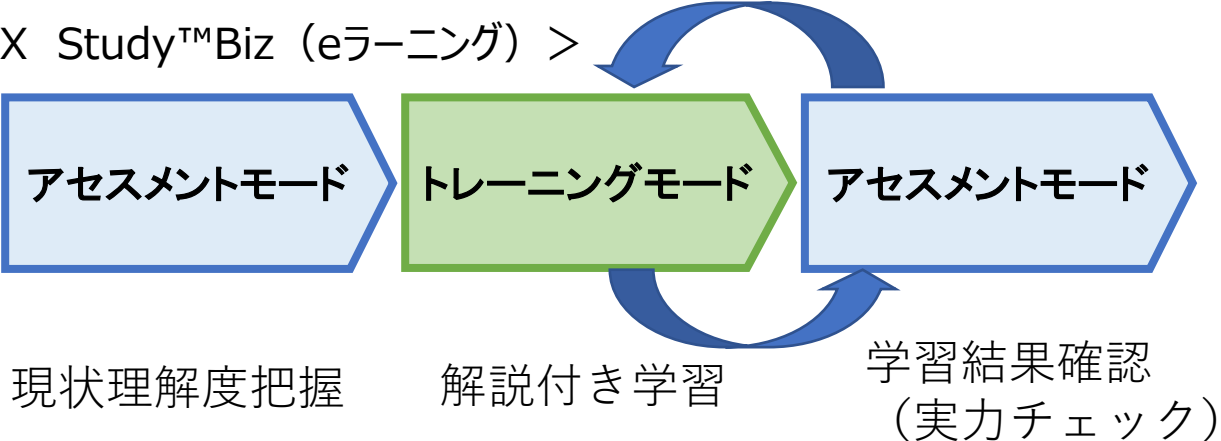
30分60問のアセスメント形式で実施をし、結果画面にて解説を読み学習できるテスト型eラーニングモードです。検定受検の準備学習・実力チェックが複数回できます。

<モード2「トレーニングモード」>

1問1答で正解・不正解を表示し、解説を読み学習できるテスト型eラーニングモードです。制限時間はなし、出題数は60問（トータル20時間）

※60問ずつのセットをランダムで出題します。
制限時間がないので、好きなタイミングに好きな分を進めることができます。
途中までの回答情報は維持されますので、再開時は前回実施の次の問題から進めることができます。

<DX Study™ Biz (eラーニング) >



年2回実施（4月、10月）

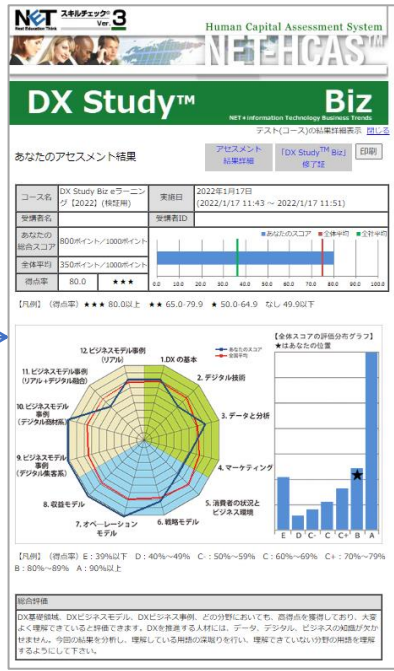


学習画面イメージ (サンプル)

<アセスメントモード画面>



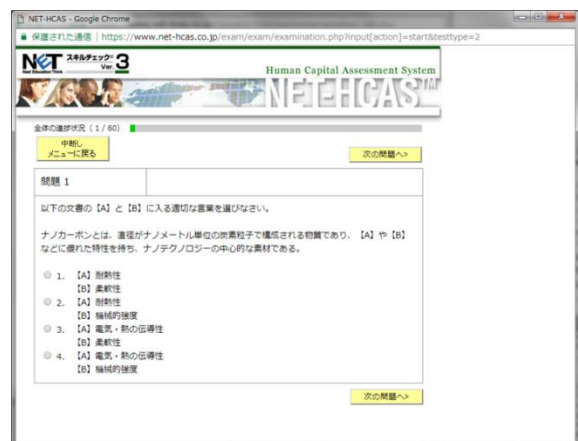
アセスメント全体結果



回答後解説表示



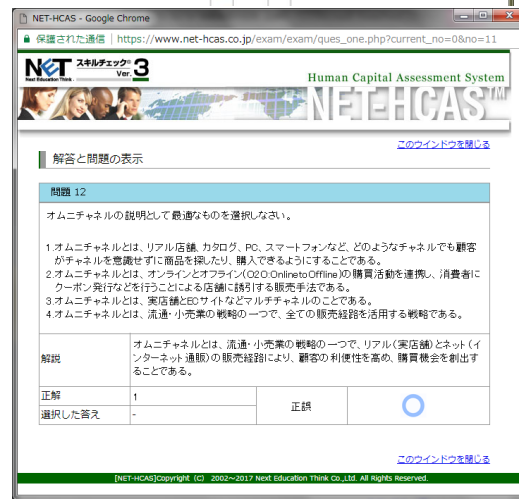
<トレーニングモード画面>



アセスメント結果詳細



解説画面



※スマートフォン版実施画面 (イメージ)

「DXビジネス検定™」 参考図書、他

(V202305現在)

「DXビジネス検定™」の参考図書をご紹介します。(※参考書等は予告なく最新のものと変更されます)

■書籍



「実践リスキング DXを成功に導く人材を育成する」(日軽BP)



「DX人材の育て方 ビジネス発想を持った上流エンジニアを養成する」(翔泳社)



「DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略」(インプレス)



「ビジネスモデル2.0図鑑」(KADOKAWA)



「この一冊で全部わかる ビジネスモデル 基本・成功パターン・作り方が一気に学べる」(SBクリエイティブ)



「図解即戦力 ビジネスで役立つIT用語がこれ1冊でしっかりわかる本」(技術評論社)



「改訂版 マーケティング用語図鑑」(新星出版社)



「教養としてのデータサイエンス」(講談社)



「IT用語図鑑 ビジネスで使える厳選キーワード256」(翔泳社)

■経済産業省 レポート

・DXレポート
～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～

・デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン

・DXレポート2 (中間とりまとめ)
・DXレポート2.1 (DXレポート2追補版)

■テレビ番組等

・カンブリア宮殿
(テレビ東京) 番組および、番ホームページ(テレビ東京のページでバックナンバーがご覧になれます)



お問い合わせ
株式会社ネクストエデュケーションシンク
ソリューション事業部

<http://www.nextet.net>
TEL 03-5842-5148
e-mail: ifsj-itbt@nextet.net